

令和2年第17回野洲市教育委員会臨時会

○日 時 令和2年8月25日

開会時刻 10時05分

閉会時刻 12時17分

○場 所 総合防災センター 研修室

○出席委員

教育長 西村 健

委 員 荒川 眞知子 委 員 瀬古 良勝

委 員 南出 久仁子

○欠席委員

委 員 立入 利晴

○説明員

教育部次長（学校教育担当） 井上 善之（兼学校教育課長）

学校教育課専門員 朝倉 竜哉

教育総務課長（事務局） 中塚 誠治

教育総務課職員（事務局） 枝 瑞紀

令和2年第17回野洲市教育委員会臨時会

令和2年8月25日

【西村教育長】 それでは、ただいまから令和2年第17回野洲市教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の出席委員は4名で定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

次に日程第1、会期の決定についてですが、本日1日限りとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

【西村教育長】 ご異議ないようですので、会期は本日1日限りといたします。

次に日程第2、令和2年第17回野洲市教育委員会臨時会議事録の署名委員の指名についてですが、会議規則第19条第2項の規定により、荒川委員と南出委員を指名いたします。よろしくお願ひします。

次に日程第3、付議事項(1)、議案に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書の採択につき議決を求めることについて、事務局より説明をお願いします。

井上次長、お願いします。

【井上教育部次長】 議案第71号、令和3年度使用教科用図書採択につき議決を求めることについて、説明を申し上げます。

公立の小・中学校で使用する教科用図書の採択については、義務教育小学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定により採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書の選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっております。

議案関係資料1ページ、資料①に本市が所属する教科用図書第2採択地区協議会の規定を載せております。この教科用図書第2採択地区協議会は草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において第2採択地区内の各市立小・中学校で使用する教科用図書が選定されます。

3ページをご覧ください。今年度の協議会委員の皆様の名簿が載っております。

次に、本日議決を求めること、並びに第2採択地区での教科用図書選定までの経緯と結

果について説明をいたします。

議案関係資料4ページが今年度の経緯になっております。資料③でございます。

今年度は中学校教科書全教科の採択替えの年であります。さらに、小・中学校、特別支援学級一般図書の採択替えを行います。現在までに、協議会を3回、代表協議会を1回、幹事会を3回開催いたしました。併せて5月21日から7月上旬にかけて、各市より選出した委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月30日と8月4日及び8月12日の協議会では、委員長より調査報告を受け選定し、8月12日には第2採択地区としての議決を行いました。

続いて、中学校は5、6ページが通常の学級で使用するものの一覧とその理由を書いております。中学校特別支援学級の一覧は議案関係資料の139ページから141ページに載っております。

理科においては、「ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび」「講談社の動く図鑑 MOVE はじめてのずかん みちかないきもの」「くらしに役立つ理科」の3冊が新たに選定されました。

保健体育においては「DVD&完全ビジュアル すべての子どもが必ずできる 体育の基本」の1冊が新たに選定されました。

なお、弱視学級については、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

小学校は、議案関係資料161ページから164ページが、特別支援学級で使用する一覧です。

特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定部門以外に絵本などの一般図書からも選定することができます。

知的障がい学級用については、社会科において、「ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み」「名人はっけんまちたんけん!3 くらしをささえるひと」「名人はっけんまちたんけん!4 まもるひと」「名人はっけんまちたんけん!5 そだてる・とるひと」「楽しく遊ぶ学ぶ よのなかの図鑑」の5冊が新たに選定されました。

続いて、協議会において、調査委員長より報告されました調査結果の概要について説明をいたします。1教科ずつ説明をさせていただきます。

【西村教育長】 ちょっとよろしいですか。たくさん教科があるので、一括して最後に採決をするのではなくて、教科ごとにしたらどうかと思うんですが、委員の皆さん、どうですか。よろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

【西村教育長】 それでは、教科ごとに、国語から順番にいきたいと思います。

【井上教育部次長】 分かりました。それでは、中学校の国語について説明をさせていただきます。

議案関係資料8ページをご覧ください。内容の取扱いについて6つの観点と学習指導に関わる構成等についての2つの観点、第2採択地区独自観点として多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現代的な諸課題について工夫・配慮がなされているかという1観点を設け、全部で9つの観点により調査研究が行われました。

調査が行われました教科用図書は、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4社から発行されたものです。

まず最初に東京書籍です。この教科書の特徴は中学生という発達段階を考慮して、漫画をうまく取り入れてあります。「学びの扉」というコーナーで取り上げ、さらに漫画の内容から「学びを支える言葉の力」で深く学べるようにステップアップされる工夫が見られます。資料編にはさらに詳しく学べるように配慮され、生徒の主体的な学びを支援できる工夫も見られます。また、読書教材も充実しています。読書への招待として各学年3編の教材のほか、読書案内、読み比べよう、読み広げようのコーナーや巻末の資料編でも多くの書籍を紹介し、生徒の読書意欲を喚起する編集になっています。

しかし、話すこと、聞くことの教材が少なく、また、話し合い活動の単元も少ないです。生徒同士が交流し合い、深い学びにつながらないことが懸念されます。また、書くことの教材が少なく、テーマ設定においても中学生の発達段階や実態に即していない教材も少し見られました。例えば、1年生では、食文化レポートを書かせる例で、ウナギはいつからかば焼きで食べるようになったかなどは引きつける例にはならないとの意見もありました。

第2地区観点の現代的な諸課題については、各学年とも考えられる教材がバランスよく取り上げられており、生命、戦争などについて、自他の考えの共通点、相違点を出し合いながら、考えられるように配慮されていました。

次に、三省堂です。この教科書の特徴は読むことの教材の最後に「学びの道しるべ」というコーナーで、内容を整理する、読みを深める、自分の考えを深めるという中学生の発達段階を考慮して、分かりやすく明確に提示しているところです。また、同じページに「語彙を豊かに」というコーナーで、生徒が語彙力を高め、表現の幅を広げる活動が工夫されています。さらに、各教材で学びを振り返る場が設定されています。話すこと、聞くこと

の教材数も適量で、中学生の興味関心の高そうなテーマが多く取り上げられています。ここでも振り返りの場の設定がなされています。

書くことの教材は他社に比べてやや少ないと思います。また、テーマ設定も1年生で「吾輩は猫である」の猫に置き換えて表現させる例に、「吾輩は五重塔である」と出てきている。生徒が食らいつきにくいとの意見も委員からありました。

また、第2地区観点の現代的な諸課題については、世界平和については考えることができますが、その他の課題については指導者が意識して指導しなければならないような教材が多いです。

次に教育出版です。この教科書の評価は一番低かったです。全体的に視覚に訴える工夫が少なく、中学生にとっては読みにくい、興味を持たせにくい構成になっています。よい点としては他社にない持続可能な目標、いわゆるSDGsの教材を結びつけている点です。

特に、第2地区観点の現代的な諸課題について、多岐にわたる視点が示され、少し難解ですが、生徒の視野を広げるにはいい編集です。また、環境問題や3年生でメディアリテラシーを取り上げるなどの工夫も見られます。

しかし、話すこと、聞くことでは単元設定がやや難しく、学習活動も不明瞭で生徒にとって学びにくく、指導者の工夫が求められる教材が多いです。また、読むことの教材は豊富ですが、学習過程が目次には示されていますが、どう学習に取り入れたらいいかが明確ではありません。書くことの活動もやや少なく、テーマも生徒の実態にそぐわないものが見られました。教材の後にある「道しるべ」という学習のポイントを振り返るコーナーがありますが、ポイントが挙がっているだけで、考える手だてが示されていないことで生徒も考えにくいと思われます。

最後に、光村図書です。この教科書は一番評価が高かったです。話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの教材がバランスよく構成されています。学習内容や学習過程が明確であり、指導者、生徒ともに理解しやすい教材となっています。各テーマ設定も中学生の実態に合致し、取り組みやすい内容となっています。

特に「書くこと」の教材が豊富で、今日、求められる活用する力の土台となる学習につなげることができると思います。また、書いたものを共有する場面も設定され、深い学びへとつなげる工夫もされています。古典教材も充実し、イラスト等で視覚的にも見やすく編集されています。また、読書活動の活性化に向け、各教材の最後の広げる読書のコーナーで2冊の紹介をし、「本の世界を広げよう」のコーナーでは生徒の興味を引く編集で本の

紹介がされています。

第2地区観点の現代的な諸課題については、人権教育に十分配慮され、戦争や環境、メディアリテラシーなど、幅広く全般的に取り入れられています。特出すべきはQRコードが掲載され、スマホ等で読み取るとサイトに直結し、音声や映像が瞬時に見られるシステムを導入していることです。GIGAスクール構想により、1人1台のタブレットが導入されると、生徒の興味関心を引き出すのではないかと期待されるシステムです。総重量も1,685グラムと最も軽くなっています。

以上、4社の特徴を報告しましたが、どの教科用図書もそれぞれに工夫されていました。

9ページ以降をご覧ください。評価の結果、東京書籍は9観点中Aが5個、三省堂は6個、教育出版は1個、光村図書は全観点の9個となり、光村図書が最もよい評価となりました。

以上のように、トータルとしてバランスのよい仕上がりとなっていることから、今回の調査結果としては、光村図書の教科用図書が最も適切であるという結果となりました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました国語科の教科書についてご質問等ございましたらお願いします。どうですか。

私が見た限りでは、東京書籍と教育出版、これは2段組みが非常に多くて本文を読んでいると、情報量が多く、授業をしている中でこれはなかなか進めにくいのではないかと思います。そんな中では三省堂と光村図書かなと思いました。

瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 事務局の説明にありましたように、やはり光村図書が全体を通して安定感があるというか、バランスがよい、特に古典の教材が充実している印象を持ちました。それから、内容的にも主体的で対話的に深く学べる感じがあるのではないかと思います。

それから、QRコード、60本以上あったと思うのですが、動画もあり、補完的に家庭でQRコードを活用して自習もできるのではないかと思います。たしか小学校も昨年度の教科書選定で光村図書だったと思うのですが、小学校から中学校の接続という点で、9年間の体系的な学びができると、そんな感じをもちました。

【西村教育長】 ありがとうございます。ほかの委員の方、何かありますか。よろしいですか。事務局、何か補足ありますか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、それではこれより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書の国語科の採択につき、光村図書に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、国語科については可決されました。

次に書写について、事務局、説明をお願いします。

【井上教育部次長】 説明させていただきます。中学校書写です。

議案関係資料16ページをご覧ください。

書写は調査観点を6観点としております。観点1は学習指導要領の知識及び技能の観点から基礎的・基本的な知識・技能を身につけるための教材学習活動について、観点2は学習指導要領の思考力、判断力、表現力の観点から各教科等の学習や実際の社会生活に役立つ書写の能力を育成するための教材学習環境について、観点3は学習指導要領の学びに向かう力、人間性等の観点から伝統的な言語文化に親しみ、主体的な学びにつながる教材学習活動について、観点4は教材資料の構成等について、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた配慮がなされているかということ、観点5は学習指導に関わる構成等について、生徒にとって学習しやすく、工夫・配慮がなされているかということについて、観点6は多様性の尊重、人権尊重、世界平和、いじめ、環境等の現代的な諸課題についての工夫・配慮がなされているかということについて、この6点について4社の調査が行われました。

17ページ以降をご覧ください。まず、東京書籍でございます。総合的に見て、評価の高い教科書の1つであり、5観点をA評価がつけました。1年生で学習した行書の4つの基本的な動きを2年生の行書の学習で生かされるよう工夫がなされている特徴がありますが、活用が難しいと考えられます。また、単元ごとにまとめの項目を設けており、ある程度の単元のまとまりごとに書写テストを設けることで、反復的に思考しながら取り組むことができるようになっています。身の回りの文字と工夫のページでは、看板、標識、石碑等の資料など、身の回りの文字文化のページが豊富であるとともに、現代につながる文字の役割のページでは古代から現代に至るまでの文字の役割を分かりやすく解説しており、古文のなぞり書きには資料が添えられています。

ユニバーサルデザインの観点で色文字でもルビは黒文字にされていますし、A B版サイズで資料に写真が多く用いられ、視覚的に理解しやすくなっております。また、デジタルコンテンツとして毛筆教材文字の運筆動画や関連する資料を見ることができます。

第2採択地区独自観点では、手紙の文例が外国人観光客への環境づくりであり、カリキ

ュラムやアラビア書道の掲載など、多文化共生の視点がうかがえるとともに、現代的な諸課題を意識した内容を多く掲載しており、書き初め例も人権尊重や平和を意識したものがありました。

次に三省堂でございます。1観点でA評価がつけました。行書と楷書を並べて例示することで、違いやポイントとなる部分が分かりやすく示されている特徴がありますが、全体として情報量が少なめです。また、単元の基本構成として一連の学習内容を分かりやすく示し、見通しをもって学習に取り組むことができるつくりになっています。また、学習して身に付けた内容を各教科の学習や日常生活、社会生活でも活用できるよう、硬筆による書き込み、反復練習ができるページがふんだんに設けられているのが特徴です。

3年生の身の回りの文字として現代まで続く文字の歴史や文化を取り上げ、文字に関わる仕事を紹介し、文字文化の豊かさに親しめるよう工夫されていますが、これも情報量が少ないと考えます。併せて、デジタルコンテンツは手本の動画がないことも惜しまれます。

次に、教育出版です。総合的に見て評価の高い教科書の1つであり、6観点全てでA評価がつけました。半紙形を維持した誌面によって書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさと余白の取り方などがより実感できるようになっています。また、筆順や中心線の注意点が記され、生徒たちに意識させたいところが見て分かるように示されています。学習を生かして書くページでは応用練習があり、日常に生かしやすいことが考えられます。

次に教科書中の「考えよう」では、単元のポイント、問題を定期的に示しており、言語活動において、より深い思考を喚起させるつくりになっています。実際画面を想定して、書体や書き方の選択に臨めるよう、各教科バランスよく教材化しており、カリキュラムマネジメントに対応しております。サイズはA B版で資料が4社の中で最も大きく、写真が豊富に使われており、視覚的に理解しやすい工夫がされています。また、デジタルコンテンツとして毛筆教材文字の運筆動画を見ることもできます。紙面構成では右ページに教材文字を配することで、目に大きく飛び込んでくるため、非常に使いやすくなっています。また、左ページには単元のポイントを配することで、必要に応じて筆遣いのポイントを確認することができるようになっています。

次に、光村図書でございます。2観点でA評価がつけました。各単元に学習のポイントが分かる「学習の窓」を設け、他の文字を書くときにも活用できるよう示されているものの情報量が少ないと考えます。附則の書写ブックでは、毛筆の学習を生かして硬筆で書く活動が豊富にできるようになっており、硬筆による反復的な筆遣いの練習をすることで確

かな書く力の育成に寄与しています。また、国語をはじめ、他教科や学校生活での活用を想定した例を紹介しており、実際場面や目的に応じて適切な筆遣いを考え、実践するように促しています。

カラーユニバーサルデザインの検証がされており、目次や小さな文字にユニバーサル書体が使用されています。ただ、書き込み欄を使用するときに、教材文字が左にあることが多いため、左利きへの配慮が不十分であると思われます。半紙原寸大ページを採用することにより、半紙上の字の配慮や構成について具体的なイメージを持ちながら取り組むことができるつくりになっています。

各社の特色は以上ですが、調査結果の様式、評価にもあるように、A評価の数は東京書籍が5、三省堂が1、教育出版が6、光村図書が2で、調査委員会として教育出版を推薦されました。

以上でございます。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました書写についてご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、書写の採択につき、教育出版に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、書写については可決されました。

続きまして、社会科に移ります。まず、地理的分野について、事務局より説明をお願いします。

【井上教育部次長】 それでは、社会科の地理的分野について報告をさせていただきます。

まず、3分野4冊の教科書を調査するに当たり、全ての調査において観点を6つとし、そのうち、内容の取扱いには県の採択観点を参考に、新学習指導要領で生きる力を具体化する3本の柱と整理された知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性としました。

また、第2採択地区の子どもたちにとって、学習しやすいか、並びに多様性の尊重、人権尊重など、第2採択地区として大切にしたいと示された諸課題についての工夫等を併せて調査観点とされました。

まず、議案関係資料34ページをご覧ください。調査した教科書は4社でした。4社ともそれぞれの観点において大きく逸脱したものはなく、優劣が難しかったというのが調査委員会の報告でした。

具体的に説明をいたします。

東京書籍は、用語解説やコラムの「地理にアクセス」、「スキルアップ」など、生徒の関心を高めたり、技能を身につけたりする学習を充実させる工夫が見られます。また、環境、災害に関する内容を地理にアクセス、もっと地理へ取り上げていますが、コラムなどの数が若干少なかったことが惜しいところでした。

教育出版は、社会的事象の意味や意義、特色や総合関連を多面的・多角的に考察するために、複数の国や地域のことを取り扱った資料が充実しています。また、「地理の窓」などで環境、防災についての記載があるとともに、特色あるミニコラムが充実しており、視点を変えた深い学びにつながるよう工夫されています。しかし、知識を理解させたり、技能を身につけさせたりする箇所が若干少ないことが気になりました。

帝国書院は、單元ごとの振り返りも確実に設定されており、学習内容の深い定着が図れるようになっていきます。また、各節末尾にある「節を振り返ろう」は最終部の地域の在り方と関連しており、世界や日本の諸課題を自分たちの地域に見られる課題と関連づけて考えることができるようになっていきます。さらに、二次元コードの内容が他社より数多く掲載され、そこから動画を見ることができるなど、とりわけ、地理的分野においては関心を深め、自主的に学習に取り組めるよう工夫されていると考えます。「未来に向けて」では、環境、防災、共生の分野で25のテーマを設定し、地域ごとの特色ある取組が取り上げられ、さらに「地域の在り方を考える」では、SDGsに関連した内容を7テーマ設定しており、他社と比較しても、内容、量ともに充実しています。

日本文教出版は、「スキルup」や「資料活用」など調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる内容が多く掲載され、技能を身につける学習内容が充実しています。また、デジタルマークをつけ、デジタル資料により学習を深められる場所もたくさんありましたし、アクティビティや自由研究などでは環境、災害、共生について資料を使い、分かりやすく扱っています。しかし、日本文教出版もコラム数が全体的に少なかったことがマイナスとなりました。

以上のことから、総合的に勘案し、地理的分野は帝国書院が適切であるという調査結果となりました。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました社会科地理についてご質問等ありましたら、お願いします。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 事務局から説明がありましたように、帝国書院の写真や地図、グラフなどのデータが比較的大きく、見やすく提示されていると思いました。それから、各地域の自然環境や風土などを地域に住む人達の生活と関連づけながら理解できるように工夫されているという感じがしました。

それから、東京書籍で1点気になったのが、隣国の韓国について、ほとんど記述がされていない感じがしました。

以上です。

【西村教育長】 ほかの委員の方、どうですか。荒川委員、どうぞ。

【荒川委員】 ありがとうございます。地理の教科書につきましては、どの教科書もやはり写真ですとか図、そういったものが非常にきれいではっきりしており、子どもたちの興味を引くようなレイアウトになっているなと思いました。どの教科書もSDGsの17の目標に照らし合わせた内容を地域の在り方ということにつなぎ合わせて、テーマ設定しているというところで、これからの現代的な課題を解決するには適切だったのではないかと考えております。

【西村教育長】 ほか、どうですか。よろしいですか。

私が見た限りで、東京書籍はびっくりしたんですが、沖縄の米軍基地の記述がないんですね。こんな教科書があるのかなと思いました。それから、野洲が大切にしてきた福島原発事故の記述もなかったんです。それから、アイヌの記述はコラム1ページ取っているんですけども、同化政策という形での記述がありませんでした。他の3社は非常に丁寧に書いていましたが、その人権の視点がちょっと弱いなと思いました。帝国書院は琵琶湖の設計温度があって、面白いと思いました。あと、文字の大きさですが、帝国書院と日文は文字が結構大きいのですが、東書と教出は少し文字が小さいなと思いました。

以上の点から、私は調査委員会のほうが妥当かなというふうに思ったんですけども、ほかにご意見がないようでしたら、採決に移りたいと思いますが、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 それでは、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、社会科地理の採択につき、帝国書院に決することについて、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、社会科地図については可決されました。

それでは、次に関連がありますので、地図について先に行きたいと思っておりますので、こちらをお願いします。

【井上教育部次長】 地図について調査された教科書は東京書籍と帝国書院の2社であり、様式1に示した判定内容について調査をいたしました。

議案関係資料55ページをご覧ください。

まず、東京書籍ですが、世界州別地図、日本地域別地図に地形の特徴、特色などが捉えやすいよう鳥瞰図を必ず多く配置し、資料図に関連するイラスト、写真をつけるなど、生徒が多面的、多角的に考察しやすいよう工夫されています。また、テーマ資料のページが各州、地域ごとに設けられ、課題を解決できるような学習を促す工夫もされていますし、SDGsについても2ページにわたって説明されています。様々な資料図が同一ページに配置されていますが、図の大きさ、示されている地域などが統一されていないため、思考、判断、表現をさせるのが難しい面があると考えます。

次に帝国書院ですが、サイズがA4番で見やすいということが大きな特徴で、一つ一つの地図や資料図も大きく、生徒が地理的事象を捉えやすくなるよう配慮されています。また、資料図、イラスト、写真などをバランスよくふんだんに盛り込み、各地域と比較したり、地域性で関連づけたりして、生徒が主体的に課題に取り組めるよう工夫されています。加えて、環境マークや防災マークによるそれらと関連を明確にした上で、多くの問題が掲載されています。このように両者とも様々な工夫を凝らした教科書ではありましたが、調査委員会としては総合的に判断し、帝国書院がふさわしいのではないかということになりました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました社会科地図につきましてご質問等ありましたら、お願いします。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 ありがとうございます。地図ですから、何と言っても地図が見やすいということが一番大事なことです。その点については確かに帝国書院のサイズは少し大きいですが、これは明らかに見やすさとかグラフとか表を充実させたいものと思います。

やはり、地図の色合い、カラー、これも見慣れているせいかもしれませんが、帝国書院がきれいで見やすい点でいいかなと思います。

【西村教育長】 ほかの委員の方、どうですか。よろしいですか。

私も見たんですけども、一番の特徴は、例えば、帝国書院の60ページを見ていただくと、ここにはその地域の地図が出ていますが、併せて、もし日本を移動させたらこれぐらいの大きさだというのが比較できます。そういう意味では非常に日本との比較のうえで、子どもたちの身近な部分との距離感とかそういう部分の比較ができていて、分かりやすいのではないかと思います。

それから、文字の見やすさとか色ですが、東京書籍は色が汚いといいますか、ちょっと見にくいですね。その辺が少し気になりました。ですから、私としても調査委員会の報告のとおりかなと思います。

ほかにご意見、ご質問ありますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようでしたら、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、社会科地図につき、帝国書院に決することについて、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、社会科地図については可決されました。

次に、社会科歴史について、事務局より説明をお願いいたします。

【井上教育部次長】 歴史的分野について説明をさせていただきます。

議案関係資料42ページ以降をご覧ください。

調査された教科書は7社です。まず、学習指導要領に示された3つの観点について調査しましたところ、政治、産業、社会、文化についての内容を時代ごとにバランスよく配置し、歴史の流れと各時代の特色が理解しやすいことや思考判断を重視し、それについて表現させる工夫がなされていること、各時間の振り返り、章の振り返りが整理しやすく、取り組みやすいことなどから、東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3社が総合的に優れていると判断しました。

一方で、教育出版は章末の振り返りについては年表の語句挿入の形式の統一感があるなど評価できる点もありますが、自分の言葉で時代を体感させる問いは説明的で知識偏重のため、やや高度過ぎると感じられます。

山川出版は個別の歴史的事象の定着を目指し、世界史との関連を強く意識した構成になっています。しかし、様々な観点から見て全体的にかなり高度な内容となっており、多く

の生徒にとって難解であると考えます。

育鵬社は多面的・多角的に考察する資料等を掲載して、思考判断を促す工夫などの特色が見られるものの、その学習箇所が少ないこと、また小学校での人物、エピソード学習との違いが感じられないという印象があります。

学び舎は各章の初めに課題意識を持つための問いかけを工夫していますが、知識の定着を意図しただけの設問が多いなどがマイナス面として見られます。

なお、第2採択地区観点である多様性の尊重、人権尊重、環境等の現代的な諸課題については全ての教科書で取扱いがあり、それぞれに工夫や配慮が見られました。その中で、山川出版は環境、防災についての記述が少なく、この観点ではマイナス評価となりました。

次に優秀とした3社のその他の特徴を見ますと、まず東京書籍は教科書としてのバランスが大変よく、学習指導要領が求めている3つの観点の学習内容箇所が一番多いと言えます。また、まとめにウェビングマップやクラゲチャートなどの他周囲の思考ツールによる思考の可視化を促すなど、示唆に富んでいます。しかし、写真の輪郭や説明の文字が小さく、分かりにくいものも散見され、ユニバーサルデザインの視点からは若干マイナス評価ということになります。

帝国書院も適切に歴史的事象を配置し、生徒の学習活動を進めやすい工夫がなされていますが、全60ページにわたるコラムの内容等が中学生にとって難しいものが多く、本文との差異が感じられるものもありました。

日本文教出版は他の2社と同様に教科書としてのバランスのよさに加え、3社の中で掲載しているコラム数、写真数、思考判断を求める課題数が最多であり、生徒にとって見やすく、考えやすいものでした。また、各時間の学習課題はどのようにだけではなくて、なぜと問うものもあり、深い思考を促す工夫がなされていました。

これらのことから総合的に判断し、歴史的分野については日本文教出版が適当であるという結果になりました。

以上です。

【西村教育長】 それでは、ただいま事務局から説明がありました社会科歴史についてご質問等ありましたら、お願いします。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 説明ありがとうございます。山川出版について一言触れておきたいと思えます。特に高校の世界史に定評のある山川出版ですので、中身が濃いいいいますか、より深く歴史を考えさせる学習設定がされていると思えます。ただ、事務局から説明がありま

したように、内容がかなり高度で中学生にとっては難解な面があると私も思いました。それと、やはり多くの内容を掲載していますので、文字のポイントが小さくなって、見にくいこともあるかと思えます。

日本文教出版はページの右側に年表スケールが入っていて、今、全体の歴史の中でどの時代かを示してトピックが分かりやすく掲載されていますので、この点ではいいのではないかと思います。

以上です。

【西村教育長】 ほか、どうですか。南出委員、どうぞ。

【南出委員】 ありがとうございます。私は保護者という視点から今中学生と小学校6年生の子どもがいるんですけども、歴史に関してはどちらかというと、ピンポイントではなくて時系列を全体に勉強したり、戻って自分なりに復習したりしていることが多い中で、先ほど瀬古委員がおっしゃたとおり、特に日本文教出版と帝国書院の右側に年表が記されているというのは、それぞれ子どもたちが調べていく、勉強していくうえでもすごく使いやすいのではないかと。東京書籍はそれが下にあったので、下はどうしてもページをめくるときに使いにくいのではないかなと感じました。

あとは、先ほどからおっしゃったように、日本文教出版に関してはすごく見やすく、歴史がすごく好きな子と苦手な子が分かれる教材だというふうに、子どもからも聞いててすごく見やすいなど。それがちょっと興味を持つきっかけになればいいなど感じました。

以上です。

【西村教育長】 ほか、どうですか。よろしいですか。

私も見たんですけども、一番気になったのはまず育鵬社です。127ページですが、部落問題について読んだときに、士農工商というのが出ていまして、ええっというふうに思いました。一応、士農工商は間違いだというふうに記述はなっているんですけど、子どもたちにそのことを覚えさせていくことになるのではないかなと、非常に危険な教科書だなというふうに思いました。

それから、139ページは徳川家の血筋ということが書いてまして、非常に危ないというふうな意識がしました。

それから、東京書籍なんですけど、挿絵がいっぱいあるのはいいんですけど、一枚一枚非常に小さく、先ほど調査委員会の報告にありましたように、見にくいという部分がありました。

東京書籍と教育出版なんですが、例えば、享保の改革というのが江戸時代にありますが、この享保の改革は左ページにあります。右ページにはマニユファクチャー、産業の発達についてのことですね。江戸時代の社会の変化、政治と社会を1時間に教えるのは非常に難しい。政治だったら政治で1時間教える。社会科は見開き2ページを1時間で普通は教えるのですが、違う分野が入ってしまうことで非常に教えにくいのではないかという印象がありました。

それから、日本文教出版ですが、例えば147ページに部落差別に関わる場所があるんですけど、「これらの人々は結束して生活を向上させていきました」というような記述があったり、181ページは「差別からの解放と生活の向上を求める動きが各地で起きました」というプラス表記が見られるという部分ではなかなか良いのではないかと考えています。

山川出版につきましては、先ほど瀬古委員がおっしゃったように、非常に専門的で中学生にとっては難しい、文字も小さいという印象を受けました。

ほか、どうですか。ご質問等ありましたら、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようでしたら、採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、社会科歴史の採択につき、日本文教出版に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、社会科歴史については可決されました。

次に社会科公民について、事務局より説明をお願いします。

【井上教育部次長】 公民的分野についてですが、議案関係資料23ページ以降をご覧ください。

調査した教科書は6社です。公民についても多分野と同様に6つの観点から調査が行われました。

まず、自由社は「やってみよう」や「学習のまとめと発展」などで、思考力、判断力、表現力を育成する工夫がされていますが、課題の内容が高く設定されていることや、文字の大きさや資料の配布などに丁寧さが不足していることがマイナスだと判断されました。

育鵬社は学習内容に関連した情報が紹介されていて、事象が理解しやすいことや、「学習のまとめ」は重要語句の基礎的知識の定着を図る工夫や配慮がされていることなどが評価できます。しかし、「TRY」ではどのような視点で調べたりするのが示されておらず、

また「学習のまとめ」ではスモールステップによる学習を解決するための活動の設定が十分ではありませんでした。

残り4社は甲乙が付けがたかったのですが、それぞれの主な特徴を申し上げますと、東京書籍は、歴史的分野と同様に新学習指導要領が求めている3つの観点の学習内容箇所をバランスよく盛り込んでおり、総合的には高評価の教科書でした。しかし、多様性の尊重に関しては、資料選定や配列などの配慮が不十分な箇所がありました。

教育出版は、「LOOK」、「クリップ」で興味関心を持たせたり、「確認！」で毎時間の知識理解の習得を促したりする工夫をはじめ、社会的事象を多面的・多角的に考察させる発問等が考えられています。ただ、資料の写真に小さいものがあるため、少し見にくいと感じる部分がありました。

帝国書院は、学習内容を振り返り定着させる工夫や現代社会へ議論されているテーマについての賛否の意見が紹介されており、多面的・多角的な思考を促す工夫もされていますが、世界平和に関しては一面的な表現がされているとの指摘がありました。

日本文教出版は、「確認」、「学習の整理と活用」で單元ごとの学習の振り返りや定着を図る配慮、「明日に向かって」では職業や年金、災害に強いまちづくりなど身近で関心の強い課題が設定されており、生徒の社会参画への動機づけとなる内容が豊富です。加えて、フリーカード法やウェビングマップなど課題について考える手助けとなる9種類のチャットや表を紹介するなどの特色が挙げられました。

これらのことから調査委員会としましては、最終的に公民的分野は日本文教出版が妥当であるとの調査結果となりました。

以上です。

【西村教育長】 それでは、社会科公民についてご質問等ありましたら、お願いします。どうですか。ないようでしたら、私が見た範囲でお話をしたいと思います。

まず、東京書籍ですが、50ページに水平社創立大会での山田少年の訴えというのが載っているんですけども、それはプラス記述ではないんですね。ただ、こういうのがあったというだけであります。そこがちょっと引っかかったところです。

それから、教育出版、これはアイヌとか部落問題とか子どもの権利条約、LGBTとか、結構、人権に関わる部分があったんですけども、多文化共生というキーワードが足りません。それがちょっと気になりました。

帝国書院は、アイヌ、ヘイトスピーチ、障がい者とかありましたが、特にここすごいな

と思ったのは、部落差別についてです。45ページに「決して許されません」というふうな立場を明確にしているんですね。差別は許したらあかんということを訴えかけているという記述、そういう立場を明確にしているという意味では注目に値するかなと思いました。ただ、原発事故については今も残る問題については記述がなかったのがちょっと残念です。

日本文教出版については、ここは歴史と同じように、例えば52ページ「多くの人々が差別に立ち向かっています」など、人々の願いや運動とかプラス表記が目につきました。ただ、ここも原発事故の被害の記述はあったんですが、今も残る避難の記述がないという部分が少し残念かなというふうに思いました。

自由社についてはもうびっくりしたんですが、多文化共生、アイヌ、子どもの人権、子どもの権利条約、ここら辺がなくて、人権全般の記述が非常に弱かった。プライバシー保護については消極的ですし、部落差別は第三者的な一面、それからヘイトスピーチ規制法については懐疑的な記述があったというのが非常に印象に残っています。

それから、育鵬社ですが、この特徴は日本の伝統文化に関する比重が非常に多く見られました。外国人とか多文化共生については、外国人の人権という記述でなくて、日本に住む人たちの気配り、配慮というふうな形で乗り越えようということで、気配り、配慮だけで乗り越えられたら差別は起きないと思うんですけども、ここを乗り越えるというのは難しいですね。それから、決定的なのは、59ページに部落差別の起こりについて記述があったんですが、血筋ということが書いていまして、決定的な間違いです。それがよく通ったなというふうに思いました。原発事故についても避難者の問題などは書かれていませんでした。

それでは、瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 1つだけ、気になるところを申し上げます。拉致問題は非常に重大な人権侵害の問題だと思うのですが、例えば、東京書籍はこの拉致問題を全く取り上げていない、記述がないと思います。それから、日本文教出版も部落差別問題やアイヌの問題とかは非常に丁寧に書いていますが、拉致問題は小さな写真が1枚あるだけで、記述としては非常に少ない感じがしました。

全体的にどの出版社も拉致問題の取り上げ方は、他の事項に比べて小さいのではないかなという点が気になりました。

【西村教育長】 拉致問題といいますと、教育出版も拉致問題の記述はなかったですね。ほかにご質問等ありますか。荒川委員、どうぞ。

【荒川委員】 日本文教出版の教科書の中で、私が興味をもちましたのは、中学生の子どもたちに経済について、イラストを使いながら分かりやすく説明しているというところです。これから社会に出て経済生活を行っていくということの基本になる部分を丁寧に書いてありますし、スマートフォンを使ったり、カードを使ったりしながら決済していくような現代的な情報も入っております。私はこれから、中学生が経済生活を行っていく基礎を学習することは必要だと思っておりますので、その意味では日本文教出版のイラスト付きの説明は丁寧でいいのではないかなと感じました。

【西村教育長】 ほか、どうですか。南出委員、どうぞ。

【南出委員】 最高学年になると、将来の夢について考える時間というのが授業でありまして、その中で自分がこれからどういう道に進んでいくべきなのかというのを考えている時期でもあります。その中で、日本文教出版や帝国書院にも、「保母」から「保育士」に名称が変更したのはなぜかとか、今までだったら女性の看護師さんが当たり前だったのが男性の看護師さんが増えているのもそうですし、これは男性の職業、女性の職業という意識はもしかすると今の子はないかもしれないですが、男女ではなく自分がどういう職業に就きたいかとか、今後どういう職業を紹介しているのかも公民を通じて考えるきっかけになればいいのではないかなと改めて考えさせられています。

【西村教育長】 ありがとうございます。ほかにご質問、ご意見等ありますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 それでは、ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、社会科公民につき、日本文教出版に決することについて、賛成の方の挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、社会科公民については可決されました。

ちょっと時間が大分たったので、ちょっとだけ休憩を取りたいと思います。

(休 憩)

【西村教育長】 再開します。

それでは、続きまして、数学に移りたいと思います。事務局お願いします。

【井上教育部次長】 議案関係資料58ページをご覧ください。

数学の教科書も8つの観点でそれぞれ評価がなされました。今回の教科書7社を比較して

みますと、全ての観点で大変よいという評価になった啓林館を推薦するということになりましたので、この啓林館について報告をさせていただきます。

全ての観点で大変よいと評価がなされました。特に、目当てが分かりやすく例示されており、見通しを持って学習に向かいやすくなっています。構成も例から問いの流れで統一されており、スモールステップで学習を進め、基礎・基本の定着も図れるよう配慮されています。また、説明資料、「話しあおう」、「まとめよう」で表現する力を身につける課題の設定もされています。章末問題では基本と応用の2構成になっており、生徒が習熟度に応じて取り組めるようになっていきます。また、家庭学習を支援するためのQRコードがついており、大きな学習支援ツールになると考えます。裏表紙から始まる「学びをいかそう」では、生徒が興味を抱くような発展的な教材が取り上げられており、評価できるということで啓林館が推薦されました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました数学についてご質問等ありましたら、お願いします。どうですか。

私が見た限りでは、数学も社会科と同じように大体見開き2ページで1時間の授業をされるんですけども、その中で見開き2ページの展開に小単元がなっているかどうかという視点で見ますと、東京書籍と数研出版、ここが見開き2ページの展開になっていないので、ちょっと授業がやりにくいのかなという印象を受けました。

ほかの方、どうですか。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 1つだけ質問といたしますか、啓林館の採用ということでもいいのですが、この啓林館の巻末についている振り返りの部分が横向きになっている、この意図といたしますか、現場で教えられる先生方にとって、横向きになっているのはどういう効果というか、意図があるのかを教えてくださいなと思います。

【西村教育長】 事務局、どうですか。

【井上教育部次長】 すみません、ちょっと難しい質問でなかなかお答えしにくいんですが、確かにこの「力をつけよう」の部分だけがほかのページと比べて横向きになっているということがありますが、特に章末の課題ですね。ちょっと難しいですね、質問にはお答えできないです。

【西村教育長】 瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 調査委員長さんの報告の中には、その部分のコメントみたいなものはなか

ったのでしょうか。

【井上教育部次長】 特に報告の中ではなかったんですが、協議会の中ではたしか出ていないと思います。

【西村教育長】 私もちっと気になったので、数学の先生に聞いてみました。そしたら、それは捉え方が数学でもいろんな人がいるので、違うかもしれないというようなお答えだったのですが、安易に答えを見るというよりは、同じように並んでいるのが見やすいんですけど、ちょっと引っかかっただけですぐに答えを見るということを避けるためには、逆にこんなふうになっているのもいいかなという捉え方もできますねという説明でした。

瀬古委員、よろしいですか。

【瀬古委員】 結構です。

【西村教育長】 ほか、どうですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 なければ、採決に移りたいと思います。

それでは、議案第71号、令和3年度使用教科用図書、数学科の採択につき、啓林館に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、数学については可決されました。

次に、理科について、事務局、説明をお願いします。

【井上教育部次長】 理科についても調査委員会の報告では最も適切である教科書は啓林館であるという結果になりました。啓林館が選ばれた理由について説明いたします。

議案関係資料76ページをご覧ください。

「課題の把握」から「課題の解決」の後、「探求の振り返り」までの学習のサイクルが統一されており、探求的な学習が身につくように工夫がされています。観察・実験における注意表記も事故防止のための安全上の注意と円滑に作業が進められるような操作上の注意のみ分けてはっきりと示されています。課題探求としての発展的な活動の研究についても、「探Qクラブ」や「探Qシート」というコーナーが特設され、丁寧にアシストされています。

紙面構成では、ページの配置は見開き2ページにおいて、中央は説明文で両端に図表という統一した形になっていて、視覚的に理解を助ける工夫がされています。

環境問題に関しても、科学的に判断できるよう、記載に工夫が見られます。

また、実生活に関係する内容もコラムとして単元の説明の中に随所に配置されていて、科学を学ぶ意義や有用性を実感させる工夫がされています。

評価は全ての項目でAとなりました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました理科についてご質問等ございますか。よろしいですか。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 今の説明に加えて、私は啓林館の巻末のサイエンス資料が非常に面白いなと思いました。こういうところで色々な実験につながっていて、実験結果を考察することを学べると思いました。特に今日的なICTを活用した項目設定があり、より一層多面的に実験結果を考察する、そういう方法、手法についても書かれていていいのではないかと。

それから、特に写真とか図については、啓林館の教科書は非常にきれいだという印象もあります。

以上です。

【西村教育長】 ほか、どうですか。荒川委員、どうぞ。

【荒川委員】 啓林館の教科書ですけれども、私は理科の学習をまず興味をもって課題をつかむ。そして、自分なりの仮説を立てて実験の計画を立てやってみる、また、結果を考察するという1つの倫理的な流れがあるものだと思っております。その意味からしますと、啓林館の教科書は写真とかが非常に適切でバランスよく配置されていますし、課題をもつということに興味を引く内容になっていると思います。イラストがあり、こんなふうに考えたらいいのではないか、こっちのようにしたらいいのではないかというような仮説の立て方の手立てもイラストで表現しているというのも、子どもたちにとってはやりやすいのではないかなと思いました。

【西村教育長】 ほか、どうですか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、それでは採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、理科の採択につき、啓林館可に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、理科については決されました。

それでは、次は音楽です。事務局、お願いします。

【井上教育部次長】 音楽は、音楽一般と音楽の器楽・合奏、この2種類について報告をいたします。

まず、音楽一般のほうでございます。議案関係資料84、85ページをご覧ください。

調査されましたのは、教育出版と教育芸術社の2社でございます。それぞれ、1から7までの観点でAとBの評価がされているんですが、この中で一番大きく差が出ましたのは、第7観点でございます。

これについて説明をします。観点7では、主に挿絵やイラストの内容で大きく評価が分かれまして。教育出版社の2・3上のポピュラー音楽図鑑では多様な音楽がイラストにより紹介されていますが、実物との相違が大きく、演奏者の肌の色が固定観念に捉われたような表現になっており、人権の視点で課題がありました。また、生徒のイラストが吹き出しとともに複数箇所にかかれていますが、吹き出しの言葉遣いやしぐさはいわゆる女性的にとか男性的になど、固定的に書き分けてありました。

一方、教育芸術社では、イラストや演奏者は常に多様な性が偏りなく配置されていました。また、アメージンググレースへ奴隷貿易に関わるエピソードが書かれているなど、意識的に人権や平和に関わるエピソードが配置されました。

こういったことから、観点7では教育出版社がC、教育芸術社がAとなりました。このほかの観点でもAとB、いろいろ差がありまして、音楽一般については教育芸術社の中学音楽が採択するにふさわしい教科書だという報告がなされました。

以上です。

【西村教育長】 それでは、音楽一般についてご質問等ございましたら、お願いします。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようでしたら、採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、音楽一般の採択につき教育芸術社に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、音楽一般については可決されました。

続いて、器楽について説明をお願いします。

【井上教育部次長】 議案関連資料90ページをご覧ください。

それぞれ1から7までの観点で教育芸術社は全ての観点で評価Aとなっております。幾つかの観点で説明をしますが、まず観点1では、教育芸術社の教科書は特に打楽器の奏法に

関する内容が充実しており、小学校からの系統性をもって学習するのは活用しやすいということで、教育出版がE、教育芸術社がAという評価になっております。

観点7では、教育出版社では、琴では全てが女性奏者、和太鼓では写真24枚中23枚が男性奏者など、男女の偏りが見られました。一方、教育芸術社ではどの楽器でも女性奏者と男性奏者の両方の写真が載っているように配慮されていました。

また、日本や諸外国の音楽と関連させて、多様性を尊重するメッセージが適切に配置されていました。これらの観点から教育出版社はB、教育芸術社はAという評価になりまして、以上、音楽器楽・合奏では教育芸術社の中学の器楽が採択するにふさわしい教科書であるという報告がなされました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました音楽器楽・合奏についてご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、音楽器楽・合奏の採択につき教育芸術社に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、音楽器楽・合奏については可決されました。

次に美術について、事務局、説明をお願いします。

【井上教育部次長】 議案関連資料94、95ページをご覧ください。

美術では、開隆堂出版、光村図書、日本文教出版の3社の選定教科書の調査がなされました。最初に選定結果ですが、調査委員会では日本文教出版の教科書を令和3年度使用教科書として選出がされました。

項目ごとにかいつまんで説明させていただきます。まず、④鑑賞に関わる項目を見ますと、開隆堂では個々の生徒作品だけでなく、時代や社会の中での美術の役割や可視に迫る鑑賞題材が解説とともに載せられており、鑑賞活動を深めることができますが、写真や図が全体的に小さく、一つ一つの作品に迫力が感じられませんでした。

光村図書は作品の特徴を捉えやすいように、原寸大で載せているページがあり、作者の筆跡などが分かりやすく、大変迫力が感じられます。しかし、全体的に図版が小さく、細々

しており、特に3社とも掲載されていた池田華子さんの作品では細かな描写が特徴であるのに、作者の作品に対して光村図書が掲載している作品では写真があまりにも小さく、載せている意味があまり感じられませんでした。

文教出版では、鑑賞に用いる図版が大変魅力的で生徒の関心を高める工夫がされていました。特に、よく授業で取り扱うピカソの「ゲルニカ」は3社の中で一番迫力があり、解説も適していると思われました。また、ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の修復作業を通して、どこまで修復すべきか問題提起をしているところなど、新たな工夫が見られました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました美術について、ご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、美術の採択につき、日本文教出版に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、美術については可決されました。

それでは、次に保健体育についてお願いします。

【井上教育部次長】 次に、保健体育について説明をさせていただきます。

議案関連資料の114ページから115ページをご覧ください。

今回、選定された教科書は全部で4社でございます。東京書籍、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいでございます。保健体育につきましては、学研教育みらいが選定をされております。

これについて説明をいたします。身近で分かりやすい事例を取り扱っており、学びを深めることができる、また、実習を用いた学習が工夫されており学び方に広がりがある。生徒同士で話し合う、表現する活動が多く取り入れられ、他者に伝える力を養うことができる。また、健康課題に対して様々な解決方法を思考し、そこから適切な方法を判断できるような資料が用いられています。資料やデータを基に共同的に取り組む課題が設定されており、課題解決を通して学んだことを日常生活に生かすことができるよう工夫されている。内容に即した資料が用いられ、関心を高めながら理解を深めることができる。構成の工夫により、目標に応じた課題解決的な学習の進め方になっている。LGBTなどの現代社会

における諸課題を取り上げ、多様性の尊重や共生の視点から配慮や工夫がなされている。
また、スポーツを通して人々の結びつきや世界平和など全般を通して、命や人権を大切に
する学習につながる内容となっています。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました保健体育について、ご質問等ござ
いませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、保健体育の採択につき、学研教育みらいに決
することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、保健体育については可決されました。

それでは、技術家庭に移ります。事務局、お願いします。

【井上教育部次長】 技術家庭科の技術分野の報告をまずさせていただきます。

議案関係資料の107ページから109ページをご覧ください。

東京書籍、教育図書、開隆堂出版の教科書から選定がなされました。東京書籍は巻頭で
技術の見方、考え方と技術の最適化についてガイダンスが掲載されています。また、4つ
学習内容の冒頭にこのような学習内容に関わる見方、考え方と最適化について掲載されて
おり、技術科としての教科の目標が明確にされている構成は指導が行いやすいという意見
が調査委員会の中で多く出されていました。

それから、実践的・体験的な活動についても3社とも工夫された実習例が豊富に掲載さ
れておりますが、東京書籍では木材を切断する工具と方法を説明しています。見開きでま
とめる、穏やかな色合いで見せるなど、総じて情報に集中しやすい工夫がされております。

また、問題解決を評価、改善、修正は他社にはない学びの振り返りがしっかり示されて
いることです。最後に、より良い生活や持続可能な社会に向けた考え方がイラストや資料
で分かりやすく記載されております。

以上のことから、技術的分野では総合的なバランスがよく、学習指導要領の趣旨と教科
の目標に即した東京書籍が最も適切な教科用図書と意見がまとまりました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました技術家庭科についてご質問等ござ

いませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、それでは採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、技術の採択につき、東京書籍に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、技術家庭科の技術分野につきましては、東京書籍ということに決しました。

次に家庭科について、説明をお願いします。

【井上教育部次長】 次に、技術家庭科、家庭分野の説明をさせていただきます。

議案関連資料の100ページからをご覧ください。

今回、調査されました教科書は東京書籍、教育図書、開隆堂出版でございます。

まず、東京書籍は写真の大きさ及び説明が充実しています。特に、これは衣服の生活の学習内容のうち、裁縫の基礎縫いの必修となるまつり縫いとスナップ付けの実習についての説明です。他の学習内容についても大変分かりやすいものになっており、実習の指導及び自学が行いやすいという意見が多く出されました。また、東京書籍では小学校での既習内容が掲載されており、系統性が明確に示されておりました。学びの振り返りから次の学習活動への活動を進めることができる関連性について工夫されておりました。

2点目の食生活の学習内容の記述についても、東京書籍ではそれぞれ、蒸すという調理法が写真を用いて説明されていますが、蒸し器の使い方を写真等で表して丁寧に取り扱っています。

3点目の学んだことを社会に生かすという資料については、東京書籍では他社にない3年間の学びを終えた締めくくりとして改めて各学習内容の学びを生活に結びつける工夫がされておりました。

以上のことから、家庭分野では東京書籍が最も適切な教科用図書であると報告がなされました。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました家庭科について、ご質問等ございませんか。荒川委員、どうぞ。

【荒川委員】 家庭科の教科書につきましては、非常に内容が豊富になっているなど感じております。先ほど、公民分野のところでも申しましたように、社会の中の経済についてを

学ぶのですが、実際、生活の中で自分たちが金銭を管理していくということについては、家庭科の学習の中で学んでいきます。クレジットカードやスマホ決済、消費者トラブルなど具体的なものについて東京書籍は説明が豊富にされていると思っております。

こういったことはきちんと中学校の時に学習しておくことがこれから先社会に出るうえでは重要ではないかと思っています。その意味では、東京書籍は優れているのではないかと思います。

【西村教育長】 ありがとうございます。ほか、どうですか。よろしいですか。

私はちょっと気になったのは、東京書籍は中身の部分ではいいなと思ったんですけども、イラストや写真の部分がちょっと引っかけたんです。やっぱり家庭科の写真ではほとんど女性が関わっているという部分がありますので、その部分が少し引っかけたのですが、総合的に授業の流れとか記述の部分についてはこちらの方がよかったかなと思いました。

ほかにご意見、ご質問ありますか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようでしたら、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、家庭分野の採択につき、東京書籍に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、家庭科については可決されました。

続きまして、英語について事務局よりお願いします。

【井上教育部次長】 外国語の調査委員会の報告について説明をさせていただきます。

議案関連資料の120ページから125ページをご覧ください。

今回、調査を報告されたのが、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書、啓林館です。

この中で、調査委員会が選定をされましたのは東京書籍でございます。この東京書籍の教科書の特徴について説明をいたします。

まず、この教科書では4機能をバランスよく取り扱っています。各ユニット、単元においては題材に関して自分の考えを簡単に表現する活動から、技能、統合的な活動を仕組まれ、そして、テーマに沿った事項、表現活動へと段階的に仕組まれています。題材に関する資料についても、図や表などの資料がほどよく使用されています。小学校との接続に関して、接続期の1年生1学期はユニットの導入を聞くことにより、各パートの導入をコミュ

ニケーション活動により適切に行えるよう設定されています。現代的な課題に関しては関連する題材がバランスよく十分に取り上げられており、生徒が自ら考えをまとめたり、伝えたりする活動も多く見られます。

総じて、全ての観点において、十分に満足できる内容であり、バランスよくまとめられた教科書として調査委員会では東京書籍の教科書が選定されました。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました英語についてご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、英語の採択につき、東京書籍に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、英語については可決されました。

次に、道徳についてお願いします。

【井上教育部次長】 特別の教科、道徳について説明をいたします。

議案関連資料の131ページから134ページをご覧ください。

今回、調査されました教科書は東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研教育みらい、廣済堂あかつき、日本教科書でございます。

この中で、調査委員会が選定をされましたのは日本文教出版です。この日本文教出版の教科書の特徴についてご説明をします。

この教科書は現代的な課題を題材とした教材が網羅されています。特にいじめに関しては、間接的なもの、直接的なもの、スキルを身につけるもの等、多彩な教材が学年ごとに用意されています。教材の配置についても、導入期、発展期、充実期と段階を踏まえて計画されており、担任をはじめとした指導者が学級集団の成熟とともに、生徒に考えを深めさせることができる工夫がなされています。教材ごとに登場人物のアイコンが掲載されていて、話の内容を理解しやすい配慮もなされており、1時間を気づく、考え、議論し、深める、見つめる、生かすという3ステップで学習しやすい工夫がなされています。

また、「プラットホーム」では各教科とつなげ、現代的な課題について考えるコラムが充実しています。地域教材も適切に配置されております。

また、この教科書は別冊道徳ノートが用意されています。友達の考えを書き込む欄があり、多様な見方、考え方が意識できるようになっており、評価への活用もできます。また、ノートの発問が入力されていないことによって、より自由に授業者が発問を設定できるようになりました。心に響く定番教材を備えつつ、色あせない見せ方がされており、教科書全体を通じて躍動感を感じます。写真や漫画、挿絵もふんだんに挿入されており、様々な評価を理解する一助としては大変効果であると考えます。

また、挿絵の色遣いが強く、インパクトが強すぎるページがあるという意見があったことを申し添えておきます。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました道徳についてご質問等ございませんか。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 私は、日本文教出版の「あすを生きる」というタイトルいいなと思います。また、「あすを生きる」というタイトルに沿ったメッセージ性のある教材が多く取り上げられていると思います。

今、事務局の説明にもありましたが、3年生では郷土の教材として、高島市針江の「川端の暮らし」を取り上げており、水のある暮らしを通して先人の知恵や思いを学ぶことができる、そういった点もいいと思います。

説明にもありました別冊の道徳ノートが非常に充実しています。教材ごとに学習の振り返りができ、家に持ち帰って保護者、あるいは友達の意見も聞いて、自分の考えはあるが、他の考えもあることに気づく。自分自身の成長の記録としても使っていけるという点でこの日本文教出版の「あすを生きる」、私はいいと思いました。

【西村教育長】 ほか、どうですか。よろしいですか。

私はまた別の視点なんですが、学研教育みらいの1年生の112ページに「ネパールのビール」というのがあります。それから、あかつきの2年生の71ページに同じように「ネパールのビール」というのがあるんですけども、これはネパールに登山に行く、日本の登山隊が山に上がっていく途中でビールを飲みたいからポーターの男の子にお金を渡して、1回目はすぐにビールを下へ買いに行行って戻ってくるんですが、2回目もまたビールを飲みたいからと、またお金を渡すんですね。今度はもっと飲みたいからたくさんお金を渡して、結局、そのお金を持った少年が戻ってこないの、持ち去られたのかなというふうなことで主人公は悩んでいると、そういう話ですが、私、こんな教材をいつまでも載せているな

と、道徳としては人を疑う気持ちとか、それはいいかも分かりませんが、外国の人がこの教材を見たら、なんと傲慢な日本人だと、バブルに飽かせて、金でそういうふうになると、そこに行ってまでビールを飲みたいという基本的な部分がおかしいという捉え方をしたらどうなんだという部分で、この教材が載っている2社については具合悪いなと思いました。

「ネパールのビール」というのは中学校で結構有名な教材らしいのですが、そんなふう
に捉えられているのが非常に残念で、早くやめてほしいなと思いました。

瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 今の教育長のご指摘に、対極的な題材が文教出版の3年生の冒頭にあります「風に立つライオン」、これは最近映画化もされましたが、自分よりも常に相手のことを考えながら、人生をアフリカの僻地医療に捧げた孤高の日本人医師の物語。いいイメージ性をもった題材ではと、非常に感銘を受けました。参考までに申し上げておきます。

【西村教育長】 「風に立つライオン」について、もう1社どこか載っていて私も2つを比較したんですけども、本文については同じなんですけども、その後の付録というか説明文がもう1社のほうは非常に弱くて、この作者の思いとかそこら辺がよく表れているのが日本文教出版かなと思いました。

ほかにご質問等、ご意見等ありましたら、お願いします。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、道徳の採択につき、日本文教出版社に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、道徳については可決されました。

次に、一般教科書についていきたいと思います。事務局、お願いします。

【井上教育部次長】 まず、小学校の特別支援学級の一般図書について説明をさせていただきます。

小学校の一般図書については廃版となる図書がありませんでしたので、この各教科の中で一番一般図書が少なかった社会科について選定作業が行われました。

議案関係資料の161ページをご覧ください。

選定されましたのは、このちょっと黒く塗ってある部分、5つの教科書です。

これを1冊ずつ説明していきます。まず、最初「ふるさと60年 戦後の日本とわたしたち

の歩み」という一般図書でございます。戦後から現代まで町の様子が5年から10年ごとに見開き1ページに描かれております。経験から町並みが描かれていることで、変化が受けつけやすく、子どもたちの見つけたことを基に学習を広げることができます。おばあちゃんの昔話というストーリーで展開し、時代を追って進められております。その時代の遊びが多く紹介されているため、実際に体験することができています。自分たちの地域と比べながら学ぶことができます。漢字には読み仮名がつけられているので読みやすいです。それぞれの時代で新しく出てきたものを言葉として押さえられております。見開きいっぱい風景、人の動きや服装、道具などが丁寧に繊細なタッチで描かれております。

次に、「名人はっけん！」シリーズでございます。3冊、「名人はっけんまちたんけん！3 暮らしをささえるひと」「名人はっけんまちたんけん！4 まもるひと」「名人はっけんまちたんけん！5 そだてる・とるひと」、この3冊についてです。身近な暮らしを支えて働く人について関係した内容が配置されております。暮らしを支える施設、人が扱われており、仕事が職業、仕事道具、一日の流れに分けて説明がされていて、その特徴が捉えやすいです。まち探検の流れや発見したことを伝える方法が記載されており、体験的な活動が展開できるよう配慮されております。吹き出しを使った補足の説明があることで、書かれている内容について理解しやすくなっております。また、平仮名、片仮名表記が多く、漢字には読み仮名がつけられているので読みやすいです。仕事場や活動の様子を分かりやすい写真で示しており、また必要に応じて注目すべきところをクローズアップしてあるので、その特徴に気づきやすい構成になっております。

最後に5冊目、「楽しく遊ぶ学ぶ よのなかの図鑑」です。社会生活の中にある仕事や設備、社会の仕組みなどが種類多く配置されております。生活の中で身近にある働く人、ものの、仕組みが描かれ、子どもたちが興味を持って生活経験と照らし合わせながら学習できるような構成になっております。

見出しを疑問形にすることで、子どもたちが内容に興味を持ち、見学体験など、具体的な活動が展開できるような内容が配置されております。全ての漢字に読み仮名が打たれており、吹き出しを使って登場人物にセリフをつけることで、社会の仕事や仕組みを想像する手だてとなっております。

見開き1ページに内容がまとめられており、写真やイラストをたくさん使っているので、子どもたちが興味を持ちやすく、また理解の一助になっております。

以上のことから、この5冊が選定されました。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました小学校一般図書についてご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、小学校一般図書について、事務局から提示があった5冊に決することについて、賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、小学校一般図書については可決されました。次に、事務局、お願いします。

【井上教育部次長】 最後に、中学校の特別支援学校の図書選定について説明をさせていただきます。

議案関係資料の139、140ページをご覧ください。

中学校では知的障がい学級の一般図書において、供給不能となったものを補充することを中心に行いました。そこで選定されましたのが、4冊でございます。

まず、「ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび」でございます。日常生活に関係の深い自然、草花、鳥、虫、川や海の生き物、雲、風、雪の仕組みや身近な事柄に関する内容が適切に取り入れられています。身の回りのいろいろな場所ごとに遊びを紹介し、自然を材料にしていろいろなものを作ったりするなど、自然や事物などへの直接的な体験を通して学習できるような構成、配列、分量に工夫されています。

「この図鑑の使い方」や「おうちの方へ」など、最初に丁寧な説明があり、指導者にとっても使いやすくなっております。また、全体を通して、解説や説明の文は短く簡潔に表現され、漢字には読み仮名をつけるなど、分かりやすい工夫がされています。ものづくりの手順が分かりやすいイラストとともに描かれているので、出来上がりのイメージが膨らみやすいです。そして、写真、図表、挿絵はオールカラーになっていて、大きくて見やすいので興味関心を持つことができます。

次に「講談社の動く図鑑 MOVE はじめてのずかん みちかないきもの」です。この図書はまちの生き物から動物園、ペット、里山の生き物、牧場の生き物、水族館や水辺の生き物まで身近な生き物を幅広く網羅しております。日常生活の中でよく目にし、直接観察しやすい生き物がたくさん取り上げられていて、1ページの情報量もちょうどよいものになっています。話のきっかけになる問いかけや観察の頻度が全てのページに表記されてい

て、知的好奇心を刺激するような工夫がされています。また、全て平仮名で書かれており、発達段階を問わず使用することが可能です。DVDのナレーションも生き物の視点に立ったものとなっており、分かりやすく興味を引く表現で説明されています。NHKのスペシャル映像が収録されたDVDがついており、動きの中で自然や生き物の躍動感あふれるほんとうの姿を見ることができ、興味関心を持つことができるように工夫されています。挿絵や写真もオールカラーで小さい生き物は拡大されていて、細部まで見やすく工夫されています。

次に「くらしに役立つ理科」です。この図書は「健康な暮らし」、「自然と暮らし」、「便利な暮らし」をキーワードにして単元が設定されており、学習指導要領にある「生命」、「地球・自然」、「物質・エネルギー」の3区分全てを含む内容です。また、身近にある事柄について分かりやすくまとめられてあり、自分の生活に直接つながるような内容になっています。けがの処置の仕方や地震など災害時の対処の仕方など、非常時の行動について挿絵とともに順序立てて分かりやすい表現で示してあり、実生活で活用できる内容になっています。また、植物の育て方や自然の事物の観察方法も丁寧に書かれているので、実験や観察をする際、取り組みやすくなっています。分かりやすい文章で表現されており、漢字には振り仮名も適切に表記されており、多様な学習能力の生徒に対応できるような構成になっています。単元内容の説明の文章もあれば、生徒に問いかける内容の文章もあり、学習内容を深めていけるよう構成されています。

さらに、「もっと知りたい」というコーナーをつくり、興味を持った生徒にはより深い内容を追求できるよう構成されています。単元や文章の内容に合わせた写真やイラストが適切に配置されています。テーマの内容を図やイラストで表現されている項目もあり、単に文章で表現するよりも具体的な図にすることで関係性が視覚的に理解できるよう表現されています。

最後に、保健体育の教科書として、「DVD&完全ビジュアル すべての子どもが必ずできる 体育の基本」を選定されています。この本は、各種の運動・実技の領域について理解しやすく、基本的な運動に楽しく取り組むことができるような内容になっています。また、児童の写真を多く取り入れ、映写画像4技能のポイントやつまずきの事例を多く記載するなどの工夫がされています。技能のポイントを「スーパーアドバイス」と示し、分かりやすい言葉で表現されています。「運動技術の特徴」、「大切なポイント」、「段階的な練習の方法」、「つまずきと解決の方法」などを写真やイラストで分かりやすく解説していま

す。また、コラムによって体育の教養についても記述されています。多くの工夫によって安全に体力の向上を図ることができるように工夫されています。

以上です。

【西村教育長】 ただいま事務局より説明がありました中学校特別支援学級用の一般図書についてご質問等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

【西村教育長】 ないようですので、これより採決に移ります。

議案第71号、令和3年度使用教科用図書、中学校特別支援学級用の一般図書4冊について、事務局提案のとおり決することについて賛成の方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

【西村教育長】 挙手全員であります。よって、中学校一般図書については可決されました。

以上、議案第71号関連は全て終了でございます。

次に日程第4、その他事項に移ります。何かございますか。瀬古委員、どうぞ。

【瀬古委員】 今回の教科書選定で多くの教科を拝見させていただいて、今日はその採択について審議したわけですが、最近は多くの教科書でQRコードを使って、ICTの活用ができるようになっていきます。そういった教科書を採択しても、それが活用できるネット環境が整備されていないと、全ての児童・生徒が公平に機材を活用できないという状況が出てくると思います。その機材整備の進捗状況をこの採択と併せて教えていただけますか。

【西村教育長】 井上次長。

【井上教育部次長】 今現在、共同調達によって1人1台のタブレット端末の入札が終わり、選定業者が決まりまして、これから機器の導入に移ります。瀬古委員のおっしゃるように、せっかく教科書にQRコードが載っていても、使える子と使えない子がいると意味がないことですので、極力そういうことのないように、できるだけ早くタブレット端末が市内の子どもたちにいきわたるように努力していきたいと思っております。

【西村教育長】 瀬古委員、よろしいですか。

【瀬古委員】 はい。

【西村教育長】 ほかに何かありますか。よろしいですか。

ないようですので、以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の会議を閉会いたします。お疲れさまでした。

— 了 —